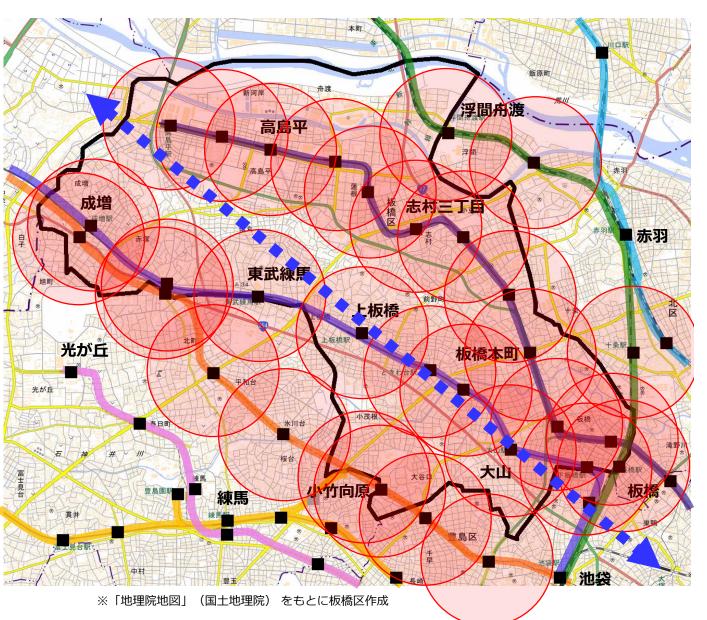
資料4

公共交通の利用促進の取組について

板橋区 都市整備部 都市計画課

1 板橋区の公共交通環境【鉄道】



区内の鉄道は、都心・副都心 に向かう方向で整備されてい る。(地図上で「青色」の矢 印)

また、各駅から徒歩で15分 以内と考えられる範囲(駅から 半径1kmの範囲)が、「赤 色」の円で図示したものであ る。

区内のほぼ全域が、駅から徒 歩圏内の立地であることは、こ の図からも見てとれる。

鉄道の間隔が2km程度では、駅からしばらく歩くと、別の路線の駅に近づいてくる感じであることから、目的地に合わせて、複数の駅や路線を使い分ける利用形態がみられる。

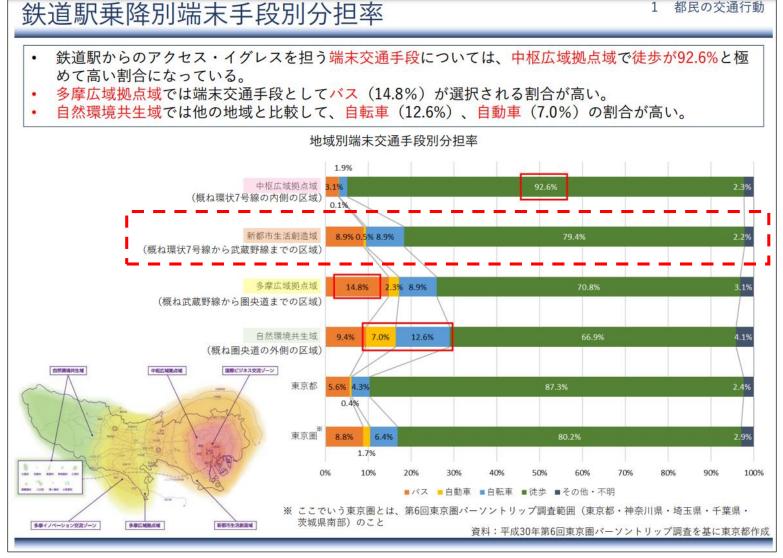
2 板橋区の公共交通環境【路線バス】



区内のバス路線は、成増、高島平、 東武練馬等の各駅を起終点に、また隣 接区の主要駅を結ぶように、区内の主 要道路を通り、区内外の駅を結ぶ路線 が設定されている。

特に、**鉄道が「青色」の矢印**の方向であるのに対して、これに交差する「赤色」の矢印の方向で、鉄道駅各駅を路線バスが繋ぐという、公共交通網が形成されている。

3 駅までの交通手段(東京都)

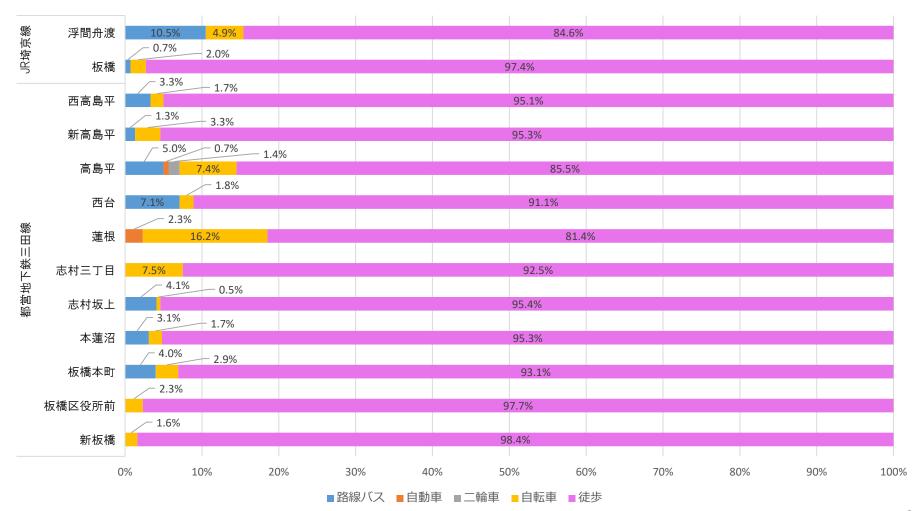


鉄道駅から・鉄道駅 までの交通手段(端末 交通手段)は多摩地域 を含む東京都全体でも 9割弱が「徒歩」を選 択されている。

都心の外周に位置 し、板橋区が含まれる 「新都市生活創造域」 でも、約8割が「徒 歩」、残りは、自転車 とバスで半数ずつとい う割合となっている。

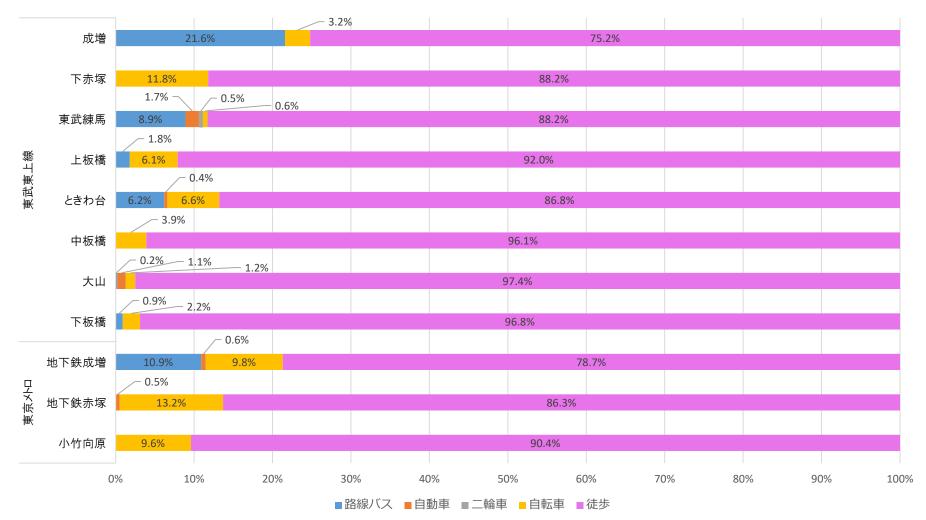
4 駅までの交通手段(板橋区①)

区内各駅からの交通手段は、<u>大半の駅で徒歩(桃色)が9割超</u>を占めている。駅前広場があり、多方面に路線バスが 運行されている駅では路線バス(水色)の割合が高まるが、全体的に見て、<u>「徒歩」が選択</u>されている。



5 駅までの交通手段(板橋区②)

東武東上線 成増駅 及び 東京メトロ 地下鉄成増駅は、両駅合計で1日平均11万人の乗降客数であり、高頻度に運行される路線バスが複数あることなどから、路線バスの利用割合が高めに出ているが、それでも、徒歩利用が大半である。



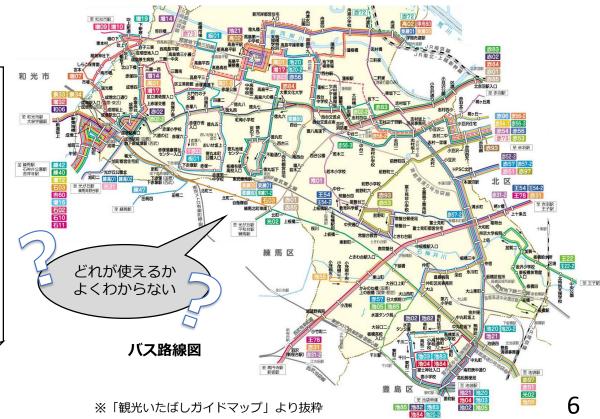
6 公共交通の利用を促す取組【わかりやすい交通案内】

徒歩・自転車の移動の多い区内では、近くを通る「バス」がどういう経路でどこまで結んでいるか ご存じない利用者もいる。

区内全域に張り巡らされた「鉄道」と「バス」による公共交通網に『気づいてもらい使ってもらう』ということが、新たな需要の掘り起こしにも繋がるため、わかりやすい交通案内は大切と考えている。

【交通案内がないと・・・】





公共交通の利用を促す取組【イベント】

令和5年秋、東武鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東京都交通局の3者で「7つの板橋駅スタンプラ リー」が開催され、令和6年度からは板橋区も共催とし、「7つの板橋駅スタンプラリー満喫版2024」を実施 した。約4,000件の景品配布を達成し、公共交通の利用促進に資する事業であり、今年度も実施予定である。

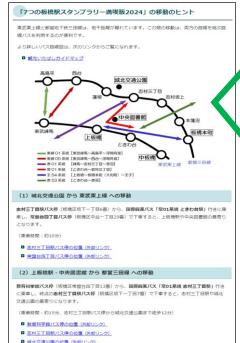
人は「何らかの目的のために移動する」ものであるという原点に立ち返り、①区で実施する様々なイベント・事業 での交通案内について、鉄道やバスをより詳しく明示すること。②今後、交通事業者によるイベント等に対して、 区も積極的に関わり、盛り上げていくことなどにより、人の移動を公共交通に結び付けていく取組を、積み上げて いきたいと考えている。





東京都板橋区

板橋区公式Xの投稿画像



スタンプ押印のた めに、鉄道2路線 の間の行き来が必 要となるため、移 動に使えるバス路 線の情報を提供し た。

(区公式ホームペー ジでの案内、各ス タンプ設置場所で の掲出(城北交通 公園、中央図書 館、上板橋駅))

(参考) スタンプラリー台紙

外面





内面